

牧之原市監査委員告示第 12 号

地方自治法第 199 条第 4 項の規定に基づき、定期監査（前期）の監査結果に基づく措置を講じた旨の通知があったので別添のとおり公表する。

令和 2 年 1 月 27 日

牧之原市監査委員 飯塚 貴穂
同 上 太田 佳晴



牧 総 第 180 号
令和 2 年 1 月 27 日

牧之原市監査委員 飯塚 貴穂 様

牧之原市監査委員 太田 佳晴 様

牧之原市長 杉本 基久雄



令和元年度 定期監査に関する報告及び意見について

令和元年 11 月 28 日付け牧監第 77 号により通知のあった令和元年度 定期監査に関する報告及び意見について、別紙のとおり措置状況を報告します。

担当 総務部総務課
2332～2335



令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

秘書政策課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監査指摘事項	措置状況
<p>① 地域協働促進助成事業の若者に魅力あるサービス等創出支援業務委託の中で、先導モデル事業としては、ミルキーウェイエリア構想の策定及び推進することである。岩手県のオガール紫波のように、農業エリアの充実や魅力的なカフェが配置されると女性客が多く見込まれると感じている。魅力あるエリア構想を十分に練り、実現させることを期待する。</p> <p>② 年度途中の職員異動によって秘書政策課の人数が減っていることについて、部内で協力し合い対応しているとのことである。職員が連携し、組織で取り組むよう努め、健康面に配慮しながら事務の遂行に努められたい。</p>	<p>① ミルキーウェイショッピングタウンエリアを先導モデルとする“公民連携まちづくり”においては、公民共に学ぶ場を設けての人材育成の推進を、先導モデル事業と併せて進めている。 「農業と健康な食の暮らし」や「女性の起業」といったテーマによる講座の開催により、独自性の高いプレーヤーを呼び込み、魅力ある新しいサービスを創出していきたい。</p> <p>② 限られた人員の中で、効率的な業務遂行に心がけ、最大限の効果と成果を出すよう、課員一丸となり努めている。また、部内協力も得て組織として対応している。監査委員から当課へ御高配くださいましたことに感謝し、御指摘のとおり事務の遂行に努めてまいります。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

地域振興課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監査指摘事項	措置状況
<p>① 公共施設マネジメントは、建物診断や現状把握など事業規模は大きく、専門的な知識も要する内容である。十分に情報収集し、策定手法の研究検討を重ね事業を遂行されたい。</p> <p>② 公共交通の充実が地域にとって大事なことである。今後、地域公共交通網形成計画を推進するにあたって、地域全体にとって確保しなければならない公共交通のあり方について、その進め方をよく検討し、地域全体をみて事業を実施していただきたい。</p> <p>③ 地区の絆を深めていくことは、緊急時においても大切なことである。地域における絆づくり事業の大切さと絆づくり事業補助制度の目的について、十分理解した上で、取り組んでいただけるよう推進されたい。</p>	<p>① 国・県からの情報収集に努めるとともに、先行的に実施している他市町の事例を参考にしながら、令和2年度までに策定予定の個別計画を施設所管課と連携して進めてまいります。</p> <p>② 市民の移動手段を確保するために、市全体のバランスを見ながら、地域住民とともに地域に合った交通形態について協議し、持続可能な公共交通の確保に向け事業を進めてまいります。</p> <p>③ 絆づくり事業については、年度初めに地区長会や行政連絡会にて事業の目的や各地区の実施内容を説明し、共通認識を図っておりますが、今後も情報交換を通じて各地区の連携・融和が更に促進されるよう、取り組んでまいります。 補助制度については、事業開始後6年が経過しており、地区が一層主体的に取り組むよう地区長会と協議して進めてまいります。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

情報交流課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>① 事業実施後は、検証が大事である。特に、子育て家族定住奨励金について、予算と施策の効果を十分に見極め、今後の方向性を検証されたい。</p> <p>② 市の情報発信事業の推進について、SNS媒体等により積極的に情報網を構築しているところであるが、情報を受ける側の立場や年齢に配慮された情報提供方法を検討していただきたい。</p>	<p>①市単事業であるため費用対効果を十分に検証しながら方向性を決めていく。特に定住に伴う経済効果等についても税収の視点等から検証を進めていく。 また、制度利用者に対しては、従来から実施するアンケートに加え、十分な聞き取り等によるニーズの把握に努めたい。</p> <p>②市では現在ホームページ、フェイスブック及びTeaメールで積極的に情報発信を行っており、今年度中には無料通信アプリ「LINE」も運用を開始する予定である。 これら多様な情報発信が市民に混乱を招くことのないよう各々、媒体の持つ特性を考慮した運用を検討していく。 またLINEにおいては、性別や年代、階層別に抽出配信できる機能（セグメント配信）が備わっている。ただし、この機能を利用するためには別途経費が必要になることから費用対効果を検証しながら検討を進めていく。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

財政課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>① 平成 29 年度決算分から新公会計制度が導入され、この財務会計書類の数値を活用して経年比較や他団体及び近隣の類似団体との比較を目標にしているとのことである。分析結果を基に、市民に対してわかりやすい財政資料を公表することや、市の行財政運営の方向性を明確にしてコスト意識をもった予算編成をするなど有効に活用することを期待する。</p>	<p>① 統一基準モデルの財務書類の作成が始まったばかりであり、経年比較や類似団体比較が早急には出来ない状況ですが、市民に対する財政状況の公表や分析指標に基づく予算編成、事業の取捨選択の判断材料とするなど様々な場面において有効な活用が出来るように取り組んでまいります。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

総務課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>① 各課が事務処理を適正に執行するため、市役所全体に対してチェック体制の見直しを検討しているとのことである。これについて、総務課がリーダーシップをとり、現場で担当一人に判断を任せることなく、組織としてチェック機能を強化する体制づくりを考えていただきたい。</p> <p>② 投票区の再編推進について、再編したために投票率が下がることがないように十分検討したうえで実施されたい。再編は必要であると考え、単純に人数だけで決定するのではなく交通弱者に配慮し、慎重に考えられたい。</p>	<p>①市議会の議案の作成や確認の過程において、チェック表の活用や組織として複数人でチェックするようお願いをしている。今後においても、起案等に当たっては組織としての意思決定となることを念頭に置き、組織としてチェックする体制が根付くよう、機会のあるごとに依頼をしていくとともに、各課の文書管理主任等を通じて周知を行っていきます。</p> <p>②投票区の再編にあたっては、その選挙区の有権者数とその判断材料として最もウエイトが高い部分ではありますが、その地域の状況や地域の意見も含め、地域の理解の下に進めていくよう考えております。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

管理情報課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>① 入札契約事務について統括しているが、今後も事務の研究や改善に努め、入札価格の適正化及び公正な入札を執行するとともに、各課への指導、周知をされたい。</p>	<p>①今後も引き続き入札契約事務を適切に執行するため、国や県、周辺市町の動向を注視し制度の改善や見直しを行うとともに関係各課に対して指導及び周知を図ってまいります。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

防災課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監査指摘事項	措置状況
<p>① 月別時間外等勤務時間数について、昨年度に比べ今年度は少し減っているものの、近年にない業務量と土日の対応や判断を伴う業務内容ということから、嘱託職員による対応は難しい状況とのことである。健康面には十分注意しながら業務を行う一方、業務の改善にも努められたい。</p> <p>② 過去の災害時、避難者への物資供給の配慮等で女性が必要であったと聞いている。防災指導員の育成について、女性の養成にも力を入れていただきたい。</p>	<p>① 同報無線のデジタル化などの施設整備、原子力災害広域避難計画の実効性を高めるための県外自治体との調整や放射線防護施設の整備、輪番制で行っている消防団の消防協会棟原支部事務局業務など業務量の多さは近年にない状況です。また、土日の業務や非常時の呼び出しなども含め判断を伴う業務も多く嘱託職員での対応は難しいため、時間外勤務も必要になりますが、職員については、職場内の風通しをよくすることで担当者が一人で悩む時間を減らすなど業務改善に努め、相互に協力しながら健康に十分配慮し業務を推進してまいります。</p> <p>② 例年、少数ではあるが女性の防災指導員も誕生しておりますが、今後も更に増員できるよう、養成講座の募集に努めてまいります。また、避難所のレイアウト作成や避難所運営についても、女性目線での配置や運営ができるよう、女性の意見を積極的に取り入れ検討してまいります。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

税務課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監査指摘事項	措置状況
<p>① 市税をはじめとする収納対策の取り組みは評価するところである。滞納整理困難者の対応については、引き続き県の短期派遣職員や滞納整理機構と連携し、適正な判断と処理に努められたい。</p> <p>② 不動産鑑定料の予算計上漏れについて、再発防止対策を講じたとのことである。今後このようなことが無いように十分気を引き締めてやっていただきたい。</p>	<p>① 滞納整理困難者への対応は、各種研修会に積極的に参加し個々の職員の知識の向上を図りながら、県や滞納整理機構と連携し、技術や知識の活用を図りながら公平・公正な滞納整理に努めていきます。</p> <p>② 予算計上漏れ対策として、3年に1度必要となる予算についても、予算0円として表記を残し、予算要望時に確認できるよう対策をしました。 また、予算作成後の確認は、担当者だけではなく組織として確認していきます。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

市民課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監査指摘事項	措置状況
<p>① 保険料還付金未払いについて、その対応処理を行い、再発防止のために事務処理のチェック体制を強化することである。各担当の専門的な部分も含めた協力体制を整え、今後このようなことが起こらないよう努めていただきたい。</p> <p>② 消費生活の多様化に伴い、市民からの相談内容も多岐にわたり複雑化している。その中で、市民相談センター窓口の雰囲気明るく、市民にとって安心できる相談場所になっていると感じる。市民の安心・安全を確保し犯罪被害の未然防止や拡大防止に努められたい。</p>	<p>①係内・課内で、業務のスケジュール管理を再度見直し、進捗状況の確認を徹底します。 また、協力体制を万全にし、さらなる市民サービスの向上に努めてまいります。</p> <p>②消費生活相談につきましては、インターネットとSNSの急速な普及により消費者と事業者間のトラブルが複雑化しているため、相談員のスキルアップを図ってまいります。 市民の安心・安全につきましても、庁舎内各部署や各種団体と連携を深め、引き続き市民への啓発と情報発信を実施し、被害の未然防止や拡大防止に努めてまいります。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

相良窓口課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監査指摘事項	措置状況
<p>① 業務が多岐にわたり、様々な目的の来庁者がある。明るく親しみやすい対応とわかりやすい説明に心掛けていただきたい。また、来庁時のトラブルも起こり得るため、今後、防犯カメラの設置について検討されたい。</p>	<p>①各業務の主管課との連携を密にして、来庁者の来庁目的を的確に処理できる体制と明るい窓口対応に引き続き努めていきます。 また、防犯カメラの設置については、庁舎管理担当と検討してまいります。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

環境課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監査指摘事項	措置状況
<p>① 広域施設組合による1市2制度の運営について様々な課題を抱えているが、施設の老朽化が進んでいるため、市民にとって住みやすいまちを念頭に早期に方針を固められたい。</p>	<p>①御前崎市（旧相良町広域施設組合）は独自運営の意向を表明しているため、旧榛原町の広域施設組合の共同運営者である吉田町と施設の運営方法等についての協議を進め、早期に方針を固めていきます。</p>
<p>② 一般廃棄物処理施設について、将来的に施設の機能を検討するならば、ランニングコスト等の経費と市民のニーズ、環境教育など様々な観点から検討されたい。</p>	<p>②施設の機能等について、ランニングコスト等の経費や市民のニーズ、環境教育など様々な観点から検討した上で、施設建設の基本構想・基本計画等に反映していきます。</p>
<p>③ 牧之原市にはウミガメの環境保護に尽力している市民団体がある。地域における生物多様性保全を推進するため、環境保護団体の支援や、国等の補助金を活用し生態系を脅かしているアカミミガメの駆除に力を入れていただきたい。</p>	<p>③アカミミガメの対策は、数年間の駆除では効果が表れないことから、地域全体でイシガメの保全に繋がる機運を醸成し、永年にわたり活動できる体制を確立したうえで、環境保護団体の支援や補助金の活用により対策を推進していきます。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

会計課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監査指摘事項	措置状況
<p>① 昨年度の指摘事項にもあるが、実務だけではなく、知識の向上が不可欠であるため研修は必要であると考え。日々の職員の知識の向上に積極的に努めていただきたい。</p>	<p>①問題解決のために、実務提要等を活用し業務を行っています。その他、県内会計担当者が集う研修における情報交換等も利用することで、正確かつ適正な会計事務処理ができるよう職員の知識向上に努めていきます。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

社会福祉課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>① 各種サービスや支援等業務委託について、社会情勢の変化と高齢者の増加で多種多様なものになっている。利用者ニーズに応えられるよう、市として委託事業者へ指導監督されたい。</p> <p>② 成年後見制度の体制づくりに取り組まれている。市民が安心して活用できる体制を構築するとともに、制度をわかりやすく周知されたい。</p>	<p>①障がいサービスや高齢者サービス、生活困窮者への自立支援事業など委託している各事業所から毎年、事業実施状況などを確認、検証した上で委託事業内容や新たな課題等を整理するなどし、現状に即した対応ができるよう委託業者と連携を図ってまいります。</p> <p>②地域連携ネットワークの構築に向けて成年後見制度利用促進審議会などの設置を行い体制づくりに取り組んでまいります。また、市民が制度への理解を深めていただくことができるよう広報紙への掲載や啓発講座などを開催し、多くの方に理解していただくと共に安心して制度を活用していただけるよう努めてまいります。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

子ども子育て課・民営化推進室

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>① 保育士及び放課後児童クラブ支援員の確保について、利用者の増加や低年齢児化により必要数が増加する一方で、会計年度職員制度への対応により確保に苦慮しているところである。子どもを産み育てやすい環境づくりに尽力されたい。</p> <p>② 現在、保育対策等促進事業費補助金の事業で病後時保育は実施されているが、病時保育については実施されていない。保護者にとって、子育てと仕事を両立するためには、病時保育は必要ものであると考える。市として、子育てをする保護者を応援し、保育ニーズに応えるサービスの拡充に努められたい。</p>	<p>①保育園及び放課後児童クラブの運営については、本市が維持してきた待機者ゼロを継続するため、保育士及び放課後児童クラブ支援員等を広く募ることにより一定数を確保し、子どもを産み育てやすい環境を確保する。</p> <p>②病児保育の実施については、医師会・医療機関との連携や保育士・看護師等の専門スタッフ確保などの課題はあるが、子育て世帯の保育ニーズに応えられるよう調査及び検討を進め対応していきたい。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

こどもセンター

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監査指摘事項	措置状況
<p>① 包括的な相談支援体制を構築するためのシステムを導入し、福祉、健康、子育てに関する個人の情報を連携し面談記録などを共有することで、有効な相談支援体制を構築していくとのことである。各関係機関や専門的支援を取り入れ、切れ目ない子育て支援の充実を期待する。</p>	<p>①福祉相談支援システムの運用を開始し、包括的な相談支援に取り組み始めた。 今後、システムを活用し関係部署との連携を深めて、世帯単位での各種支援の充実を図る。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

健康推進課・地域医療室

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監査指摘事項	措置状況
<p>① 健康推進事業として各種事業を幅広く展開し、どの事業も市民にとってプラスになるものであるが、認知度が低く活用されていない事業が見受けられる。事業を精査した上で、市民に広く周知し、効果的な事業を実施されたい。</p> <p>② 地域医療体制について、医師確保が課題になっているだけでなく、看護師不足も懸念されている。地域に根付いていただけるよう支援対策について検討されたい。</p>	<p>① 昨年度、いのち支える牧之原市自殺対策計画を策定し、今年度、健康増進計画及び食育推進計画を策定している。計画策定過程において、牧之原市の健康や食生活の課題が明らかになったため、今後はこの課題解決に向けて重点的に事業に取り組みます。 また、事業に対する市民の認知度を高めるため、広報等媒体の積極的活用に加え、地区担当保健師による地区活動を通じた周知を進めます。 さらに、新たな周知の機会を増やして行くため、ヘルシーメニュー協力店や事業所などと連携して健康情報を提供するなどの社会環境づくりに取り組んでいく予定です。</p> <p>② 榛原総合病院では、組合立静岡県中部看護専門学校に委託して看護師の養成に取り組むとともに、県内外から看護学生の研修を受入れるなど、入職につなげるための取組を行っています。また、入職後の通勤対策として、病院の近隣に看護師住宅を用意し、通勤の負担軽減を行っています。 また、指定管理者の医療法人沖繩徳洲会及び榛原総合病院組合では、看護学生等の修学を支援するため、修学資金を貸与し、</p>

監査指摘事項	措置状況
	<p>一定期間の就職を条件に貸付金の償還を免除するなど、看護師の確保に取り組んでいるところです。</p> <p>さらに、指定管理者の医療法人沖繩徳洲会の関連グループである学校法人徳洲会では、令和2年4月に医療大学を開学し、看護学部において法人自ら看護師の養成に取り組みます。</p> <p>市としても、令和2年度から新たに始まる指定管理協定において、地域医療を維持するために必要な人材確保に要する経費に充てることなどを目的として、指定管理者へ地域医療交付金を交付し、人材確保を支援することとしています。</p> <p>今後も引き続き、市の魅力をPRするなど、看護職が地域に根付いていくことができるよう支援します。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

長寿介護課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監査指摘事項	措置状況
<p>① 高齢者の増加、処遇困難ケースの増加などから包括支援センターの機能強化が求められ、担当地区の見直しをすることである。今後、市と法人の体制を充実させるとともに、地域住民や関連する団体組織と連携し、高齢者が安心して自分らしい暮らしができるよう期待する。</p>	<p>①令和2年7月より地域包括支援センターの一か所を増設し、3か所による運営形態で実施することにより、相談体制の充実を図る。また、この機会に担当地区の見直しも行う予定である。</p> <p>本年度は、市と関係法人との調整会議等により、新規のセンターがスムーズに業務を行えるよう調整を図っていく。</p> <p>中長期的には、団塊の世代が後期高齢者となることや、高齢者のみで構成される世帯の増加により、相談支援業務等が増加すると考えられ、地域包括支援センターへの充実の必要性が高まっていくため、今後も地域包括支援センターとの定期的な情報交換や、実務的な相互支援体制をつくり、担当地域にこだわらない協力体制づくりに努めていく。</p> <p>（具体的な措置状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの担当する高齢者数を6,000人以下に調整を図っている。 ・新規包括支援センターの outgoing による実務研修を含め、事前に関係する機関との面識及び連携強化に配慮して準備を進めている。 ・地域包括支援センターの担当エリアの周知を令和2年2月から開始する。 ・継続的な支援が必要なケースは、円滑に移行するため、相互の支援体制の構築に取り組んでいく。

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

農林水産課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>① 農業者を応援する各種補助金制度があるが、国の交付基準が複雑なものや変更されたものなどあるなかで、補助を必要とする農業者の声をよく聴き、今後も意欲のある農業者へ必要な支援ができることを期待する。</p> <p>② 鳥獣被害防止対策について、鳥獣被害防止対策協議会を中心に関係職員及び地域と連携をとり、必要な防止策を講じることは大事なことである。今年度から設置された鳥獣被害防止対策実施隊の活動推進と『自らの土地は自ら守る』という地域への意識啓発にも努められたい。</p>	<p>①補助金制度の改正や変更された場合は直接、必要とする農業者へ丁寧な説明やホームページ、毎年発行しているあぐり通信などにわかりやすく掲載など様々な手段で支援できるよう努めていく。</p> <p>②鳥獣被害防止対策実施隊での現場パトロール強化や地域へ出向いての農業者への助言指導及び今年度から開始した鳥獣被害防除設備設置事業費補助金制度（電気柵等設置補助）の更なる周知に努めていく。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

お茶振興課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>① 農業集落排水事業について公会計への移行が求められるなか、事業経営は厳しいものと考えられる。今後、施設利用者だけでなく施設利用者以外の市民からも納得できる財政運営について検討されたい。</p> <p>② 茶複合経営推進事業について、複合経営で他の作物に取り組むことは本当に難しく、糸口を見つけにくいと感じる。担い手の意欲を大切に、情報を積極的に提供するなど支援に努めていただきたい。</p>	<p>①令和5年度の公会計への移行に向け準備を進めている状況であり、本年度は集落排水施設の機能診断を実施し、長寿命化の対応を図るとともに、公会計移行時に必要となる施設、設備、管路等の資料収集を行っている。</p> <p>また、施設使用料については、市内で広く普及している合併浄化槽の利用経費に準じた施設使用料を設定し、利用者の理解を得ながら事業会計の健全化を図っていく。</p> <p>②長引く茶況低迷で、茶専業での農業経営が厳しい状況となっていることから、当課の重点事業として複合経営の推進を図っている。</p> <p>複合経営に取り組む農業者への支援として、3年前から専門家を交えた複合経営の勉強会等を開催し複合経営の準備を支援するとともに、本年度からは茶園からの転換を図る生産者を対象に、転作補助制度を新設した。</p> <p>今後も農林事務所やJAなど関係機関と連携し、転作物物の情報提供、支援体制の充実を図っていく。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

商工企業課・企業立地室

令和元年度の実定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監査指摘事項	措置状況
<p>① ふるさと納税については、牧之原市においても大事な収入である。販路拡大につなげるためにも、市内事業者の発掘、多種多様な記念品コースを考案中とのことである。ホームページ掲載方法においても、今一度検討し、更なるふるさと納税の推進に努めていただきたい。</p> <p>② がんばる中小企業応援事業についてセミナーの開催予定、問題解決に向けた相談会を開催している。創業を考える女性の相談もあり、今後、新たな起業者の発掘と支援にも更に力を入れていただきたい。</p>	<p>① 総務省による制度改正により、500品目を超えていた返礼品は、一時400品程度まで減少したが、市内事業者の協力により、地場産品やギフトなどを中心に450品程度にまで回復した。中でも、牧之原市産の茶葉だけで製造された黒烏龍茶の商品化が令和元年12月に実現し、過去の黒烏龍茶のリピーター等からの寄附申込みが増加している。ホームページについても、より有効な掲載方法についてシステム業者と検討に入っている。</p> <p>② 女性向け、創業者向けのセミナーや経営相談窓口「まきサポ」により創業支援を図るとともに、令和2年3月には創業のきっかけづくりとなるように、専門相談員が具体的な事例を紹介する「まきサポ報告会」の開催を予定している。このようなセミナーや報告会を通じ、起業したい新たな人材を発掘するとともに、創業までの相談体制を整え、起業者の増加に努めていく。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

観光課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監査指摘事項	措置状況
<p>① 沿岸部の活性化については、3.11などの影響もあり非常に難しくなっている。マリンステーションの整備などを進めていく中で、沿岸部の活性化を取り戻す施策が必要だと考える。沿岸部の活性化を目指す団体の自立につながる補助金の在り方を検討していただきたい。</p> <p>② 田沼意次侯生誕300年事業を成功させ、今後も市内外に向け田沼意次侯に関係する事業を展開し、牧之原市の活性化につなげていただきたい。</p>	<p>①沿岸部で民間団体がイベント等を行うにあたり『魅力ある郷土発信事業補助金』『マリンスポーツ大会等支援事業補助金』の交付が可能であり、特に『魅力ある郷土発信事業補助金』については、3年を目途とした交付を行い、自立したイベント運営を促している。また、これらの補助を活用してより多くの団体がイベント行ってもらえるよう努めていく。</p> <p>②11月17日（日）に行われた田沼意次侯生誕300年記念大祭も、晴天の中20,000人以上が訪れ、盛会のうちに終了。今年度の事業としてはまだ終了していない事業もあるが、今年度行った事業により、市内外の幅広い世代に田沼意次侯が周知でき、当初の目的である『意次侯の功績の顕彰と市民の誇りの醸成』にも寄与、今回の大祭の賑わいに繋げることができた。今年度事業は節目、契機として行ったものであり、今年度行った事業を活用し、来年度以降も情報発信や市の活性化、誘客に繋げていく。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

教育総務課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>① 市内小中学校施設の老朽化はかなり進んでいる。今後、学校再編計画を進めていく中で、十分な議論が必要であるとともに、経済的な側面からも効率的、効果的な検討を図りたい。</p> <p>② 災害時における学校の対応について視察を計画しているとのことである。いざという時に、すぐに役立つ大切で必要な学びである。しっかり研修してほしい。</p>	<p>① 施設の老朽化対応は喫緊の課題であるため、学校再編計画を策定する中で、効率的、効果的な整備ができるよう十分な議論、検討を行っていききたい。</p> <p>② 「学校再編、小中一貫教育、コミュニティ・スクール先進地視察研修」の中で、教育内容、学校施設の視察だけでなく、災害時の学校の状況等についても視察を行ったので、研修の成果は関係各課で共有し、学校再編計画策定事業、小中一貫教育推進事業、コミュニティ・スクール推進事業等に生かしていききたい。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

学校教育課

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>① 小さい頃からいろいろな事に興味を持ち実践をしていくことや、子どもたちに実験の面白さと機会を与えることが理科の視野を広げると聞いている。現在、市では理科教育に力を入れており、理科支援員の充実した配置により理科準備室も整備されている。今後、更に理科教育に力を入れ進めていただきたい。</p>	<p>① これまで小規模の小学校には隔年で配置してきた理科支援員であるが、今年度はすべての学校に配置し、同一の条件で教育活動を行うことができるようになった。</p> <p>実験器具や薬品などの環境的な整備だけでなく、教員の授業構想づくりへのアドバイスや児童生徒へのサポートなど専門的な関わりも増えてきている。</p> <p>アンケートでは児童の90%以上が「理科支援員がいてくれて授業が楽しくなった」と回答していることから、今後も充実したサポートのもとで、理科教育に力を入れていきたいと考えている。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

社会教育課・スポーツ推進室

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>① 田沼意次侯顕彰事業について、昨年度から力を入れ事業を進めてきており、今年度生誕300年記念事業を行うが、総合計画（実施計画）をみると来年度以降は事業が載っていない。これまでの事業費をより有効なものにするためにも、関連事業を継続し発展させていただくことを期待する。</p> <p>② 幼児から児童の初期スポーツ導入の機会として、アクアリズム教室を実施している。小さい頃からのスポーツ推進は大切なことであると感じている。今後も力を入れていただきたい。</p>	<p>① 今回、田沼意次侯の功績を顕彰したように、鈴木梅太郎博士や勝間田氏など、多くの郷土の偉人が果たした功績や業績を顕彰していくことで、更なる郷土愛の醸成を図る機会を設けていきたいと考えている。</p> <p>具体的には、歴史教室や出前授業、マップの作成、紙芝居の活用などを通して、市内外へ広く周知していくとともに、各分野に精通した有識者・専門家による講演会の開催も検討していきたいと考えている。</p> <p>② 幼児期から運動遊びを通して、体を動かす楽しさや心地よさなど興味・関心を高め、幼児期に必要な多様な動きの習得や体力・運動能力の基礎を養うとともに、生涯にわたって運動に親しむ習慣づくりを目指します。</p> <p>具体的には、アクアリズム教室やストライダー体験会など楽しく運動できる機会の提供を関係団体と協力して進めていきます。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

議会事務局

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>① 合併以降の全ての会議録を対象として、会議録検索システムを新たに導入する。これは、職員だけでなく市民にとっても、欲しい情報を簡単に検索し、入手できるとのことである。有効な活用と積極的な情報公開を図られたい。</p> <p>② 議会ICT化の推進において、タブレットの導入を検討しているとのことである。また、議会は政策立案の推進に向け取り組んでいくとのことである。事務局職員は、議会活動のため側面的な関わりに更に努力されたい。</p>	<p>① 会議録検索システムは、ホームページからアクセスすることができ、キーワードや発言者、答弁者等を指定しての検索や、合併以降の年度を跨いだ横断的な検索等ができることから、議員や市職員だけでなく、市民が様々な方法で市議会における会議等の内容を知ることができるようになった。今後も随時、会議録を公開し、議会からの情報公開、情報発信を積極的に進めていく。</p> <p>② タブレットについては、令和2年9月の導入にむけ、使用基準等を明確にするための運用規程等が必要となることから、策定に向けた作業を遅滞なく進めていく。</p> <p>政策立案については、条例策定が円滑に進むよう情報の提供や法制面での支援を行い、条例制定の実現に向けて積極的に関わっていく。</p>

令和元年度の監査指摘事項に対する措置状況について

監査委員事務局

令和元年度の定期監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>① 監査委員総会及び研修会は知識を向上させるとともに、近隣市との情報交換ができ有効な機会である。年間スケジュールについて、議会等との日程調整に配慮されたい。</p>	<p>① 各種の監査委員総会及び研修会は、監査に関する専門的な知識と今後の情勢などが得られる貴重な機会であります。当日は近隣市との情報交換もされることから、出来るだけ全ての会に出席していただきたいと考えております。来年度の開催予定が県都市監査委員会から示されているため、議会事務局にも日程調整を依頼しています。</p>